

# 市測協だより

(第44号)

平成25年1月発行

一般社団法人福岡市設計測量業協会

福岡市中央区薬院1丁目6番16号

〒810-0022 百田興産ビル201号

TEL (092) 751-8246

FAX (092) 751-2271

<http://www.f-shisokukyo.or.jp>

E-mail: [info@f-shisokukyo.or.jp](mailto:info@f-shisokukyo.or.jp)

## 福岡市交通事業管理者 坂田憲治

新年あけましておめでとうございます。

福岡市設計測量業協会の皆様におかれましては、  
設計測量業を通じて本市の事業に多大なる貢献をいただき、  
深く感謝いたしております。

さて、私ども福岡市交通局では、「人と環境にやさしい輸送サービスの提供」を掲げ、安全・安心そして快適・便利な輸送サービスの提供を目指しております。特に、七隈線につきましては、更なる鉄道ネットワークの機能強化などを目指して、現在の終点である天神南駅から、都心部区間を整備して空港線博多駅及びJR九州博多駅に接続する延伸事業について、平成24年6月に国土交通省から鉄道事業許可を取得し、事業を推進しております。

七隈線延伸によって、お客様の利便性が更に高まるとともに、沿線のまちづくりにより、都心部の活力と魅力の向上を期待することができるため、早期着工、早期開業に向けて、局一丸となって取り組んでまいります。

また、今春には、本市地下鉄のICカード「はやかけん」の全国相互利用を開始する予定であり、全国的なICカードネットワークが形成され、観光やビジネスなど、国内外との交流を支える交通のソフトインフラとして、本市の魅力向上に寄与するものと期待しております。

今後とも、安全を最優先に、お客様にご満足いただける輸送サービスの提供に努め、皆様からより愛される地下鉄を目指してまいりますので、地下鉄事業に対するなお一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、年頭にあたりまして、会員の皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

写真：福岡市地下鉄七隈線

一般社団法人福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力をつくします。

## 新年のごあいさつ

### 一般社団法人 福岡市設計測量業協会 会長 上田 欽三



平成25年という新しい年を迎え、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、それに伴い発生した原子力発電所の事故は、日本の安全神話を覆す未曾有の大災害となりました。

あれから1年4か月、少し、日本全体が落ち着いたと思われた平成24年7月には、北部九州豪雨により、福岡県南部地域及び熊本県・大分県が、過去に例を見ない水害で甚大な被害を受けました。

福岡市は、幸いにしてほとんど被害はありませんでしたが、福岡県南部地域の災害復旧対策としては市測協が一致団結して支援活動を行っております。

ここ数年、地球環境に異変が起きていると感じているのは、私だけでしょうか？地震は毎日のようにテレビで報道していますが、あまりの多さにほとんど感じなくなりました。降雨量が1時間100mm以上というのも珍しくないように思えます。

昨年12月2日の中央道笹子トンネル天井板の老朽化に起因する落下事故等、ほとんどが『想定外』とすることで処理されているように思えてなりません。

当協会は、福岡市に『福岡市地域防災計画』に基づく防災支援活動の一環として、防災支援活動に関する協定締結申出書を提出しております。

私たちは、公共工事の土木分野における測量、設計及び既存インフラ施設の運営アドバイザー技術集団であります。

技術者として、基本に立って、何をすべきかを考え、建設的な意見を述べ、協力を進んで行えば、信頼される強力な協会となること間違いありません。

今年度は、理事全員がいろんなことを実行しようと頑張っています。皆様のご協力をお願いいたします。

元に戻しています

### 理事会報告

8月 8日 ・福岡市へのPR活動実施  
～10日 福岡市の各部局・各区役所等

8月20日 ・福岡市へのPR活動報告  
・各委員会からの提案・報告  
・平成24年度経営者研修会について  
・平成24年度技術講習会について  
・技能功労者の推薦について

8月28日 ・福岡市との防災協定について

9月18日 ・福岡市との防災協定について  
・平成24年度経営者研修会について  
・資格取得の支援について  
・見積業者選定の依頼について

10月15日 ・福岡市との防災協定について  
・行政連絡協議会からの報告  
・平成24年度経営者研修会について  
・平成24年度中間事業報告  
・技術委員会報告

12月10日 ・福岡市との防災協定について  
・平成24年度経営者研修会報告  
・行政連絡協議会からの報告  
・福岡市へのPR活動配布箇所の確認  
・市測協だより第44号について



### 本年度RCCM資格試験受講生募集

技術委員会では、RCCM試験を受ける方の支援を行います。なお、詳細は後日お知らせいたします。

### 平成24年度経営者研修会

平成24年11月21日、中央区天神のアークホテルロイヤル福岡天神において、福岡市の出前講座の講演を活用し、平成24年度経営者研修会を開催した。

#### 講演 I

「市民生活と経済を支える博多港」  
博多ターミナル整備による集客増の推進について  
福岡市港湾局港湾振興部長 中村 貴久



▲ 市民生活と経済を支える博多港について講演する中村部長

#### 博多港の強み

強み① 東アジアに近い

強み② 半径5kmに陸海空の輸送モードが集積



#### 大型クルーズ船の寄港

○平成24年6月より、アジア最大級のクルーズ船が寄港



ポイジャー・オブ・ザ・シース  
総トン数：137,276トン 乗客定員：3,838人 全長：311m

資料提供：福岡市港湾局

#### 講演 II

「道路施設のアセットマネジメントについて」  
福岡市道路下水道局管理部道路維持課長  
江崎 賢治



▲ 道路施設アセットマネジメントについて講演する江崎課長

#### 道路の役割

人や自動車が通行します。	暮らしに必要な水道、下水道、ガス、電気、電話などのライフラインを収容します。
太陽の光がさし、風が通り抜ける空間となります。	樹木や草花を植えると街に安らぎや潤いを与えます。
災害が起きたときの避難路や防災活動の場所になります。	地下鉄や地下街のための空間に利用されています。

資料提供：福岡市道路占用工事調整協議会

福岡市博多港での急増する国際海上コンテナや、大型クルーズ船の寄港等、東アジアに近い利点を生かした取り組みについての講演には目を見張るものがありました。また、福岡市民の安全・安心をささえる道路づくりの講演では、我々設計測量業の得意分野を生かし、福岡市の発展に携わって行くことが使命だと感じました。

## (一社)福岡市設計測量業協会の新しい試み

### 行政連絡協議会の発足について

(一社)福岡市設計測量業協会行政連絡協議会

我々、地方の業界はいま大変厳しい状況に、置かれています。中央大手コンサルの進出と、支店経済のために業者数が多く、そこで、地場業者としての棲み分けをお願いしてもなかなか難しい面があります。その為に受注が伸びず社員の新規採用が出来ず、その悪循環で衰退の一途を辿るのは明白であります。

まるで、一昔前の石油業界の価格破壊と同様で、その果ては、大手石油業界の独壇場となりました。

又、流通業界でも然り地方の百貨店が駆逐され、複合商業施設に取って変わられています。当然社会環境の変化もあると思います。

更に、現在のコンビニエンスの進出は消費者の生活まで変えてしまいました。つい最近までの、三ちゃん商店が瞬く間に消え、シャッター通りと化して終わりました。

この事は我々業界も、見逃すわけにはいきません。自分の会社だけとは言う気持ちでいますと、中央大手のコンサルの下請けか、フランチャイズ化されてしまいます。その事が巷では徐々に進みつつある現状において、依然として、家屋調査士会の組織がしっかりしているのは法務省管轄と言う事もありますが、更に組織力と、団結力が磐石であるからに他なりません。

そこで今回、皆様のご協力のおかげで当協会も行政連絡協議会を発足いたしました。

行政当局のお手伝いと政策の勉強会を目的とした協議会であります。当面、緊急災害時の出動態勢等を整えその準備を行います。

申すまでもありませんが、各ブロックにおいて、普段から市議会の先生方と市民の立場での勉強会を設け、行政の方々に建設的アイデアを提案したいと思います。その際において賛助会員の方々や、当会員の技術士の方々、更に行政経験者の方々にも、ご意見を賜りたいと思いますので、これからのご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

### 行政連絡協議会の方針

地場企業の棲み分けとしての、本協会の心構え

- 一、 会員の増強
- 二、 成果品の充実
- 三、 適性価格による受注
- 四、 公共、公益事業の参画（防災協定等）
- 五、 政策の要望（福岡市の活性化に繋げる、建設的な意見）
- 六、 福岡市の行政経験者による協力及びアドバイス
- 七、 常に要望は、市民に対して建設的な事案である事
- 八、 賛助会員の協力及び応援の依頼
- 九、 その他各ブロックにて活動方針を定め、本部に報告する事

## 行政連絡協議会の目的及び趣旨

今般、(一社)福岡市設計測量業協会において新たに、行政連絡協議会を発足させました。その目的、趣旨等を述べたいと思います。

### 1) 目的

- 一、 自然災害等の、防災支援
- 二、 政策の要望
- 三、 地場企業の棲み分け
- 四、 地場企業としての自覚
- 五、 賛助会員も含めての専門技術士、行政経験者による協力及びアドバイス

以上のとおりですが、とりわけ、一、二、を積極的に行いたいと思います。

### 2) 趣旨

従来の福岡市との意見交換会と異なる点と申しますと、所謂、担当部局に対しての要望や苦情処理に終始していました。福岡市の将来における、大局に立った政策や建設的な意見等を、提案するステージがありません。このことは福岡市民においても、専門家としての提案がなされないことが、大きな損失とされますので、定期的に協議会を開催致します。

### 3) 関連事項

各企業間で培われたノウハウを十分に発揮できる業務の確保と、中央業者との棲み分けについても研究したいと思います。

又、組織力においても会員数が不足していますし、受注量や、会員の数が伸びてないのが事実です。更に会員の増強に力を注ぎ、福岡市担当部局との信頼を得ることを、怠りなく努力すべきです。

とりわけ、行政の立場による安心して発注できる体制とはなにか、更に、優先的に当協会に発注できる理由付けはなにか、それぞれに研究する課題はたくさんありますので、これらをひとつ、ひとつ、エンドレスで答えを求めていく必要があります。

これからは、賛助会員の皆様のお力もお借りして、そして、各企業の技術士の方々や、更に、行政経験者の方々にもお力添えを頂き、長期戦で望みたいと思いますので皆様のご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人 福岡市設計測量業協会行政連絡協議会組織

- 会長 : 上田 欽三 【福岡建設コンサルタント(株)】  
 委員長 : 尾川 昇 【都市企画センター(株)】  
 副委員長 : 米倉 隆盛 【第一総合技術(株)】  
 副委員長 : 川崎 信三 【大正測量設計(株)】

地区名	会 員 名	代表者名	地区名	会 員 名	代表者名
東 区 中央区	◎九州コンサルタント(株)	木本 達	城南区 早良区 西区	◎ 大洋建設コンサルタント(株)	大曲秀美
	○(株)イズミ	知識益雄		○(株)コンテック	紫村浩明
	産業開発コンサルタント(株)	力丸明德		(株)クマガイ設計測量事務所	熊谷俊明
	芳野測量設計(株)	芳野勝敏		(株)ガイア	田中弘通
	日本乾溜工業(株)	沢井博美		(株)ヤマウ	中村健一郎
南 区	◎(株)大高開発	大塚憲一	博多区	◎(株)スリーエヌ技術コンサルタント	木村麟太郎
	○(株)アジア建設コンサルタント	山本稜一		○ 第一総合技術(株)	米倉隆盛
	エコエンジニアリング(株)	岩永文夫		(株)エム・ケー・コンサルタント	深水賢治郎
	共和航業(株)	細川昇二		(株)トキワ・シビル	山崎雅文
	(有)国土調査事務所	村田嘉文		新日本測量設計(株)	今泉 護
	大正測量設計(株)	川崎信三		日本地研(株)	福田久弥
	(株)タイセイ技建	中村 亨			
◎印…ブロック長 ・ ○印…副ブロック長					

## 平成24年度第1回技術講習会

平成24年9月20日、春日市のクローバープラザにおいて平成24年技術講習会を開催した。福岡市市民局防災危機管理係による出前講座では、想定を超える大雨となった平成21年7月の九州北部豪雨での浸水状況を踏まえ作成された「浸水ハザードマップ」の見方について講演を受け、防災意識を再確認した。また、測量設計の様々な講演に受講者から「勉強になった、基盤地図情報は位置図等に活用したい」との声があった。

- ◇ 福岡市出前講座  
「ハザードマップの見方について」  
福岡市市民局防災・危機管理部  
防災危機管理係長(技術調整担当) 真崎 裕 幸
- ◇ 「災害対策の心構え・組織編成」  
災害対策委員会 深 水 賢 治 郎
- ◇ 「土地実地調査書の書き方」  
用地測量委員会 (有)国土調査事務所 佐 藤 哲 郎
- ◇ 「公共基準点測量の流れ」  
基準点測量委員会 大正測量設計(株) 下 田 浩 二
- ◇ 「基盤地図情報の使い方」  
GIS委員会 (株)大高開発 向 秀 幸
- ◇ 「自転車道整備におけるライン導水ブロックの有効活用」  
水谷建設工業(株)福岡支店 藤 井 公 義
- ◇ 「コンパクトブリッジ(アルミ製人道橋)の紹介」  
日本乾溜工業(株)  
(株)住軽日軽エンジニアリング 大 坪 幸 一  
後 藤 良 平



▲ ハザードマップの見方について講演する真崎係長

福岡市の防災情報が入手できるホームページ

福岡市防災・危機管理情報

検索

<http://bousai.city.fukuoka.lg.jp/>

## 測量

## 用地測量と基準点との関係

用地測量を実施する際には公共座標を有する基準点を与点として実施します。境界復元を行う際に、使用する基準点の精度が高ければ正確な復元ができるのでしょうか？

例えば電子基準点から、精度の高い基準点測量を実施して良好な精度の基準点を設置したとしても、その基準点から復元した境界点は正確な位置に復元できるとは限りません。

正確な復元と言う考え方では、境界を観測した点から境界点と復元する方法が一番正確な復元方法なのです！

しかし、現地に当時測量を行った基準点が亡失している、効用確認結果が悪い為等で近傍の基準点を使用できない等の問題が多く発生します。

この様な場合は、基準点調査を広範囲に実施し、既設の境界点や引照点との関係から、復元可能な基準となる点を見つけ出し、その基準となる点から測量を実施し復元を行う必要があります。

当然基準点精度は高い事が必要なのですが、用地測量に於いては高精度基準点＝高精度復元となるとは限りません。

現在、福岡市では『都市基準点』と『街区基準点』の併用は避ける様にとする指導が出ています。

都市基準点から復元を行った結果と街区基準点から復元を行った結果が違うという報告もありますので、用地測量を実施する前には、使用する与点を計画して実施する必要があります。

地積測量図の法的記載事項として、使用した基準点の成果は記載するようになっております。いかに境界点観測に使用した基準点が重要視されているのかがわかります。それでも基準点、境界点の亡失事故を想定し引照点設置は常識となっております。

我々測量士が作成する用地実測図には、将来境界点が亡失、移動しても誰もが容易に復元可能にする為、境界観測等に使用した基準点及び引照点の成果は絶対記載し、現地においては、保全を考慮し、選点や設置方法に最善の注意を払わなければなりません。

最後に、用地測量成果の地理空間情報整備を官民が協力して行い、成果の利活用及び業務の効率化を推進する必要があると思います。

## 福岡市技能功労者表彰

平成24年11月27日、基洲測量㈱の夏山英樹氏に福岡市長より、平成24年度福岡市技能功労者として表彰状が授与された。

夏山氏は、昭和36年から測量設計業務に従事し、以来52年間技術の修得と技能の研鑽を積み重ね精励し続けてこられた。

これからも、後進の指導にあたってますます磨きをかけて頂きたいと思いをします。

### 【福岡市技能功労者】

福岡市では、技能尊重の気運を高め、技能者の社会的地位の向上や後進の励みとなることを目的として、永年同一職業に従事し、技能の研鑽並びに後進の指導育成等に努め、市民生活の向上に功績のあった技能者の方を「福岡市技能功労者」として表彰しています。



▲ 福岡市技能功労者受賞の夏山氏

この度、一般社団法人福岡市設計測量業協会のご推薦を頂き、福岡市長より、技能功労者賞を拝受致しました。私にとっては、まさかの事でしたが、重みある名誉な事と感謝しております。

私は、高校を卒業してから今日迄、52年間測量に従事してきました。この52年間という年月は傍からみると長い年月のようですが、私にとっては一瞬の事で、まさに『光陰矢のごとし』といったものでした。今、考えてもつい先日の様にさまざまな事が思い出されます。

北海道の層雲峡では、変電所の裏にそそり立つ岩山が崩壊しているということで、札幌大学登山隊の支援で地形測量を行いました。岩壁に打ち込まれたハーケンに命綱を垂らし、そこに2人乗っての作業で、『3トンの荷重にも耐えられるから心配ない』と云われながらも、まともに下が見えず、がっかりと岩にしがみついて恐怖におののいた記憶があります。

対馬では、当時、電気は農協から供給されており、電気代も高く、本土並みに整備するというので、山間部の送電線測量を行いました。距離測量をスタジオ測量で行ったのですが、当時、その許容誤差は測距距離の1%であった為、鉄塔のスパンが400m、500mある場合、その誤差も4m、5mは許容誤差内でありました。今日ではとても考えられない事です。こうして振り返ってみますと、私は測量業の技術の向上、又、測量機器の目をみはる進歩をなしとげた激動の時期にいたのです。

仕事ではとにかくよく歩きました。そのお陰で健康を頂いた気がします。これから先も健康である限り、微力ではありますが、社会及び測量業界の発展に貢献できる様に頑張りたいと思います。

最後になりましたが、今日まで私を支えて頂いた方々、協会会員の皆様にこの場をおかりして、厚くお礼申し上げます。

基洲測量㈱ 夏山英樹

## 第32回ボウリング大会

平成24年11月9日、早良区の西新パレスボウルにて、企画部会の川崎理事による始球式を皮きりに第32回ボウリング大会を開催した。

各レーンではストライクの豪快音と黄色い歓声の中、職場を離れた解放感を味わった。

団体戦は水谷建設工業㈱福岡支店が初優勝を飾り、トロフィーとともに副賞が贈られた。個人戦の成績発表では、優勝者から敢闘賞まで名前が呼ばれるたびに拍手が起こり和やかに表彰式が行われた。

団体		団体は2ゲーム平均点
優勝	水谷建設工業㈱福岡支店	1,255点 (AVE156.8)
準優勝	㈱福岡ヤマックス	1,082点 (AVE135.2)
第三位	㈱西部技術コンサルタントA	807点 (AVE134.5)
個人		
優勝	磯崎庄司 [水谷建設工業㈱福岡支店]	375点



▲ 優勝：水谷建設工業㈱福岡支店

## 正会員・賛助会員の近況

### 【代表者変更】

- |            |       |        |            |
|------------|-------|--------|------------|
| ・大野コンクリート㈱ | 代表取締役 | 大野 憲太郎 | (平成24年 7月) |
| ・芳野測量設計㈱   | 代表取締役 | 芳野 勝敏  | (平成24年 8月) |

### 【住所変更】

- |         |  |  |            |
|---------|--|--|------------|
| ・(株)実 測 |  |  | (平成24年10月) |
|---------|--|--|------------|

〒812-0887 福岡市博多区三筑2丁目8-8 TEL 588-7888 ・ Fax 588-7887

一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員数 正会員 79社・賛助会員 17社

平成25年1月現在

**設計部会 37社**

アジアエンジニアリング(株)	(株)アジア建設コンサルタント	朝倉コンサルタント(株)	(株)旭建設コンサルタント
エイコー・コンサルタンツ(株)	エコーエンジニアリング(株)	(株)エム・ケー・コンサルタント	(株)エムテックエンジニアリング
九州コンサルタント(株)	極水設計(株)	(株)クマガイ設計測量事務所	玄洋技術(株)
五光設計(株)	(株)サンコンサル	佐藤設計(株)	産業開発コンサルタント(株)
(有)シティ・シビル・コンサルタント	(株)昭和建設コンサルタント	(株)新世コンソーシアム	(株)スリーエス技術コンサルタント
(株)西部技術コンサルタント	太洋建設コンサルタント(株)	(株)大陸総合コンサルタント	(株)拓研コンサルタント
(株)第一技術コンサルタント	第一総合技術(株)	(株)大建	(株)東洋技術コンサルタンツ
(株)トキワ・シビル	(株)都市計画設計事務所	都市企画センター(株)	西日本開発コンサルタント(株)
(有)野田土木設計事務所	福岡建設コンサルタント(株)	(株)富士総合技術コンサルタント	(株)不動エンジニアリング
メック(株)			

**測量部会 42社**

(株)アイエスプランニング	(株)アオイ	(株)アースプランニング	(株)イズミ
井野測量設計	(株)エイティティ福岡	築邁測量設計(株)	栄和測量設計(株)
(株)ガイア	春日総合技術(株)	基洲測量(株)	共和航業(株)
技研測量設計(株)	(株)九州技術協力	九州測量設計(株)	(株)コンテック
(有)光陽測量設計	(有)国土調査事務所	三栄測量設計(株)	(株)ジオ
島西測量設計(株)	新日本測量設計(株)	(有)セイワ測量設計	(株)測栄舎
(株)タイセイ技建	大正測量設計(株)	(株)高田工務所	(株)大高開発
大光技術コンサルタント(株)	大樹測量設計(株)	筑紫測量設計(株)	(株)デヴァイス藤原
(株)トーコン	(株)豊田工務所	(株)永田測量設計事務所	(株)中村測建
西技測量設計(株)	花本測量設計(株)	(株)ヒカリ建設コンサルタント	福岡総合技術コンサルタント(株)
明和技研(株)	芳野測量設計(株)		

**賛助会員 17社**

大野コンクリート(株)	(株)カクマル	(株)柏木興産本店	(株)九コン
(株)実測	(株)ジオテック技術士事務所	(株)シティプラン	日本乾溜工業(株)
日本地研(株)	福岡コンクリート製品協同組合	(株)福岡ヤマックス	福岡コンピュータ(株)九州営業所
(株)松尾測機	松永測機(株)	(株)水上洋行	水谷建設工業(株)福岡支店
(株)ヤマウ			

**テストTIME**

次の漢字にサンズイへんをつけて読み仮名をお答えください。(例:サンズイへんに十・・・汁 シル)  
(音読み・訓読み可)

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 酉 | ② 谷 | ③ 也 | ④ 斉 | ⑤ 炎 |
| ⑥ 隼 | ⑦ 留 | ⑧ 登 | ⑨ 難 | ⑩ 魚 |

答えがわかった方は、住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえ、郵便・FAX・Eメールで、当協会事務局へ3月31日までにご応募ください。正解者の中から、抽選で3名の方に二千円の図書カードを進呈いたします。なお、当選者発表は次号にて行います。

あて先 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目6番16号 百田興産ビル201号  
一般社団法人 福岡市設計測量業協会  
FAX 092-751-2271 Eメール info@f-shisokukyo.or.jp